

自主防災組織

- ❗ 大規模災害の直後は、市や消防、警察などの救援が不足するおそれがある
- ❗ 地域住民が自主的に協力・連携した自主防災組織の活動が求められる

「自分たちのまちは自分たちで守る」

大規模災害による被害を最小限に抑えるためには、行政の力だけでは限界があります。自治会、自主防災会、民生委員・児童委員、近隣住民、ボランティアなどの組織化された「地域の力」が必要不可欠です。



平時の活動

日ごろから、住民の防災意識向上のための啓発活動を実施します。また、災害時に組織がどのように活動するのか訓練をします。

- ☐ 地震や風水害、土砂災害についての正しい知識を啓発
- ☐ 浸水想定区域における早めの避難など、地域特性に対応した被害拡大防止策を啓発
- ☐ 各種災害を想定した防災訓練・避難訓練の実施
- ☐ 亀裂のある塀や用水路、狭い道路といった地域の危険箇所の点検および調査 など



災害時の活動

災害が発生したときに、被害の軽減・防止のために組織的に活動します。

- ☐ 公的機関からの災害に関する正しい情報の収集と住民への迅速な伝達
- ☐ 出火の防止、初期消火活動
- ☐ 被災者の救出と救護活動、応急手当
- ☐ 避難誘導や避難支援、避難者の把握
- ☐ 避難所の運営と環境整備、給食や給水 など



自主防災組織を設立しましょう！

小山市では地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の設立を推進しています。自主防災組織を設立される地域に対しては、消火器・かまど・救助工具セットなど、防災活動に必要な資機材整備を支援しています。

詳しい内容については、市のホームページを確認してください

